



NOBORIBETSU

2月8日、富岸小学校で新1年生の1日入学が行われました。
 今年入学するのは男子47名、女子52名の計99名。
 午前9時すぎから父母に手を引かれ続々と初登校。10時半すぎからはお兄さんお姉さんたちのクラスへまじって歌をうたったり、ゲームをしたり、緊張の中にも楽しいひとときを過ごしていました。この日は登別、若草、鷺別の各小学校も1日入学が行われました。

広報 のぼりべつ

'91. 3.1
No.485

■人口/56,702 ■世帯/19,722 (前月比=人口 -34・世帯 -9) 平成3年1月末現在

スクランブル

わっ!! オこだ
第20回 湯まつり

登別温泉湯まつりが、二月三日
四日の両日行われました。

湯まつりは毎年節分に行われ、
今年で二十回目を迎えるとともに
さっぽろ雪まつりの前に催される
ことから、ホテルや旅館は宿泊客
で満杯となります。

温泉街にかがり火がとると、
赤鬼、青鬼にふんした湯鬼神三千名が
神楽に乗って登場し、旅館や商店
を一軒ずつ回り厄払いしました。

まつり広場では、豆まき、子宝
もちつき舞い、湯鬼神かぐらが披
露され、見守る観光客に、つきあ
がったばかりの湯の華もちや甘酒
が振る舞われました。

最終日の四日には同様のイベント
が行われ、まつりの最後には下帯
一本の若者約五十名による源泉湯

かけ合戦が勇
壮に繰り広げ
られました。
登別温泉の
豊富な湯に感
謝し、また枯
れることのな
いよう願いを
込め湯をかけ
合い、もうも
うとたちこめ
る湯気や若者
の熱気が訪れ
た観光客を圧
倒していました。

いい汗かいたね

第13回登別市民総合スポーツ祭が2月10日、
登別市総合体育館で開かれました。

チビっ子からお年寄りまで約 320人の市民
が参加し、8チームに分れて競技を行いました。

第11回までは秋に開催していたスポーツ祭
ですが、昨年から冬場の運動不足解消に……
と2月実施になりました。

集まった市民はラジオ体操で体をほぐした
あと、ゲートインボールやボール送り、玉入れ
など皆が簡単に楽しめる競技に歓声を上げ気
持ちの良い汗を流しました。



市民総合スポーツ祭

わきあいあい

登別ミニバレー協会杯争奪大会が2月3日
に、登別市総合体育館で行われました。

いつもは、自分の所属するチームからの試
合参加ですが、この日は「もっと交流を広げ
よう」と抽選で12チームに分かれ、予選リ
ーグと決勝リーグを行いました。3ブロックで
行われた試合では力強いスパイクや激しいラ
イリーが繰り広げられ、夕方まで親睦を深め合
っていました。



登別市ミニバレー大会

「市長室フリータイム」を 実施します

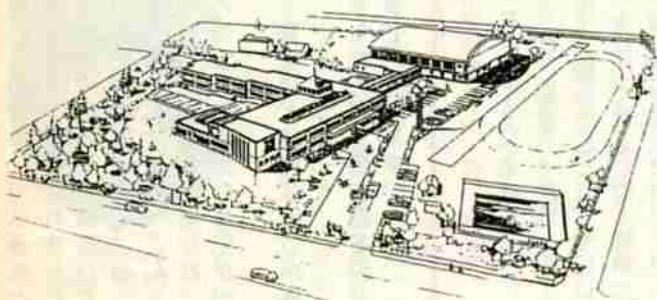
市は、市民の皆さんが市長と自由に語り合える機会を拡げようと「市長室フリータイム」を設けています。

日頃、市長と会って話したいと考えている方は、この機会をご利用ください。

なお、来庁される市民の方の待ち時間を少なくするため、あらかじめ電話で予約を受け付けます。

総務課広聴広報係（☎1130）までお申し込みください。（先着6組程度）

▶開催日時 3月27日（水）午前9時30分から午前11時30分まで



わ だ い

幌別小改築に向け 公開設計競技(コンペ)を実施

市は、幌別小学校校舎の改築時期をむかえ、後世に誇れる学校施設の建設をめざして初めての公開設計競技（コンペ）を実施しました。

このコンペは、昨年の九月、市指名業者八十社を対象に競技参加を呼びかけたもので、うち十六社からの応募がありました。

市、学校関係者らの慎重審査の結果、最優秀賞に札幌市の建築設計会社、創建社（森下陽治社長）の作品が決定し

ました。

最優秀賞を受けた作品は、二階建て延べ四千四百六十六平方メートルの「コ」の字型のモダンな校舎で正面玄関フロアが吹き抜けになっており、二階部分に天窓、三階部分には三角屋根を型どった塔屋を配置するなど未来感あふれたデザインとなっています。

市は、昨年行った幌別小学校舎の構造調査（耐力度調査）の結果を待ち、この作品を参考としながら改築に取り組む計画としています。

めびめび書けました

小中学生書き初め展が2月2日から4日まで市民会館で開かれ、約300点の力作が訪れる市民の目を楽しませました。

今年で21回目の展示会会場となった中ホールには「大志」や「にじ」など新年への思いを込めた作品がズラリと並べられ、中でも、「中国・六朝時代の字体をほうふつさせる」（登別書道連盟）と、「文武」と書いた西陵中2年の竹内雅美さんに最高賞の登別書道連盟賞が贈られました。



小中学生書初め展

「どん」実演にびっくり

富岸小で2月2日、昔懐かしい「どん」づくりが行われました。

同小では、昨年春に体験学習として六年生が初めてジャガイモとトウモロコシづくりに挑戦しました。この日「どん」となったのは秋に収穫し、乾燥させておいたトウモロコシ約30粒。体育館中央に壮瞥町から借りてきたどん製造器が置かれ全校生徒700人が「ドーン」と大きな音とともに一気に「どん」の出来あがり。モクモクと煙が上がる迫力に子供たちは目を白黒させていました。



富岸小で節分集会

初春 子ども 討論会



二月二日・三日の両日、市民会館を会場に「のほりべつふるさとまつり」（登別市ふるさと広場実行委員会主催）が開催されました。この「ふるさとまつり」は、ふるさと登別の良さ、素晴らしさを見つめ直し、一層住み良いまちづくりのための夢を育てようとして実施され、初日は市内の全小学校の代表二十二名による「こんな街を：ほくの・わたしの願い」をテーマとした討論会が開かれ、学校や地域のこと、将来の夢や希望などについて活発な意見が出されました。

二日目は、ふるさと豆まき大会や郷土芸能など多彩な催しが披露されました。

本号では、討論会で出されたチビッ子たちの意見の要旨を紹介するとともに、二日目の各種行事を写真で紹介いたします。

司会 今日、登別の良いところ、すばらしいところ、住み良い街にするため学校や地域でしていることや不足していること、そして将来の夢や願いなどについて意見を聞かせてください。

■ **工藤織枝さん**（温小六年）

カルルス温泉とカルルススキー場が素晴らしいです。温小のマーチングバンドは、緑風園祭りに参加したり地域の清掃などをしていきます。道路などにゴミを捨てないでほしいと思います。将来は温泉地区にも公園を作ってください。

■ **井野 拓さん**（幌別西小六年）

カムイヌブリヤサケの上る川など自然が豊かだし、知里真志保などアイヌ文化を伝えた人など素晴らしいと思います。学校では西小祭りをやって地域の人を招待しています。サケが幌別川の上流で産卵できるように魚道をつけてほしいのが願いです。

■ **木村珠美さん**（登小六年）

マリナーパークが素晴らしい。登小祭りは、児童会で計画を立てています。願いとしては、学校にプールを作ってほしいのと地域に大きな図書館があればいいと思います。

■ **畑山 力さん**（幌小六年）

豊かな温泉や地獄谷などめずらしい所があります。困っていることですが、学校が古く雨もりがするので新しくしてほしいと思います。アスレチックなどのある大きな公園があればいいなあ。

■ **大平満子さん**（札内小六年）

札内の自然と新登別大橋がステキです。学校では、春と秋に道路などの清掃をしています。このように他の地区にも広げられたいと思います。それと公園がほしいです。

■ **岸沢有華さん**（鷺小六年）

クマ牧場と温泉が素晴らしい。学校でベルマークを集め必要なもの



幌小6年
笠井望由季さん



幌小6年
畑山 力さん

のを購入していますし、昨年開校百年を記念して皆さんでトリーテムポールを作りました。鷺別川にサケがたくさん来るよう美しい川にしたいです。

■ **赤井晋さん**（富岸小六年）

昨年の鬼サミットなど、鬼を主体にしたお祭りが多くあります。富岸地区は大変発展しています。が、年中スポーツのできる施設があればいいと思います。また、下水道が全市で使えるようになるまでどのくらいかかるのか関心があります。

■ **山崎満由さん**（登小六年）

登別漁港があつてたくさん魚が取れるのが素晴らしい。学校ではカボチャなどを植え、自分たちで料理し食べたりします。家の近くには、細い道路が多く危険なので早く整備してほしいです。



幌別西小6年
井野 拓さん



幌別西小6年
大村のぞみさん



幌別西小6年
岩井比左衣さん



富岸小6年
赤井 晋さん



富岸小6年
住江 克正さん



富岸小6年
三上 宏美さん



鷺小6年
岩部 智帆さん



鷺小6年
岸沢 有華さん



青葉小6年
宿村 孝博さん



青葉小6年
小笠原孝司さん



幌別東小5年
中谷 亮介さん



幌別東小6年
浅賀 貴史さん

■**笠井望由季さん(幌小六年)**
幌小つ子広場というお祭りで行
ろいろな物を作ったりします。登
別は温泉が豊富なのでこれを利用
して、ロードヒーティングや温水
プールを作ったり、ビニールハウ
スを利用して産産を活発にしたら
良いと思います。

■**岩井比左衣さん(幌別西小六年)**
学校でリングブル運動をして車
イスなどをプレゼントしています。
公園を作るとき、子どもたちか
ら遊具のアイデアを募集したらも
っと楽しい公園になると思います。

■**伊勢啓一さん(温小五年)**
温小マーチングバンドは、いろ
いろな行事に参加しています。
温泉は、坂が多く冬は凍ってあ
ぶないので、こういう所をなくし
てもらいたいです。それと野球チ
ームがあればいいと思います。

■**中谷亮介さん(幌別東小五年)**
学校で一円玉を集めて寄付をし、
社会に役立ててもらっています。
東小のプールには屋根がなく、
水温が上がらないので屋根をつけ
てほしいです。

■**岩部智帆さん(鷺小六年)**
子ども獅子で地域のお祭りに
参加していますが、学校の前が国
道で車が多く交通事故が起きます。
皆んな気をつけてほしいと思いま
す。将来は苦小牧にあるようなフ
ァンタジードームのような施設が
ほしいです。

■**近井美香さん(札内小五年)**



若草小6年
平野 悟郎さん

札内の緑が素晴らしいのですが、
畑などに車で入る人がいるので困
ります。こういうことは絶対にや
めてほしいと思います。

■**宿村孝博さん(青葉小六年)**
三年前、学校で長縄飛びを九十
人でやり、百八十五回の世界記録
をつくりました。それ以来長縄飛
びが盛んになっています。

■**小川真太郎さん(若草小六年)**
学校では体力づくりが活発でマ
ラソンや縄飛びが盛んです。希望
は、学校のプールの床にひびが入
っているのを修理してください。

■**小笠原孝司さん(青葉小六年)**
スケートリンクで体力づくりを
しています。将来は、街が発展して
車が多くなっても交通事故のない
社会になればいいと思います。

■**三上宏美さん(富岸小六年)**
勤労生産学習で野菜を作ったり、
アメリカから来ているピーター先
生と豆まきをしたりして交流を拡
げました。

■**平野悟郎さん(若草小六年)**
一年生のクラスと六年生のクラ
スというように兄弟学級で交流を
しています。希望ですが体育館に
暖房設備をつけてもらいたいです。



若草小6年
小川真太郎さん

■**浅賀貴史さん(幌別東小六年)**
登別は自然が豊かで産産もあり
ます。でも、交通事故も多いので
交通安全にもっと力を入れてほし
いと思います。

■**大村のぞみさん(幌別西小六年)**
冬にスケートリンクを作ります
が今年のように暖冬だとできない
ので、運動のため市民プールを年
中無休にしてほしいと思います。
また、ゴミを出すときは分別収集
を守り、使えるものは再利用する
ように運動したら良いと思います。

■**住江克正さん(富岸小六年)**
僕たちの学校にはプールがなく、
若山町のプールまで歩いて行くの
ですが、将来、学校にプールを作
ってもらいたいと思います。

「一日市長」などで子どもたちの
意見を聞いた市社会教育委員は、
「人への思いやり、ふるさとを愛
する心を持った発言が多く素晴ら
しい討論会でした」、「今の気持ちを
大切にしてください」、「今と感想
を述べていました。また、会場で
見守っていた各学校の教師や父兄
の皆さんも、子どもたちの真剣な
発言に目を傾けていました。



札内小5年
近井 美香さん



札内小6年
太平 満子さん



温小5年
伊勢 啓一さん



温小6年
工藤 織枝さん



登小6年
木村 珠美さん



登小6年
山崎 満由さん



鷺中合唱部のみなさん「わたしの街で」を歌ってくれました。

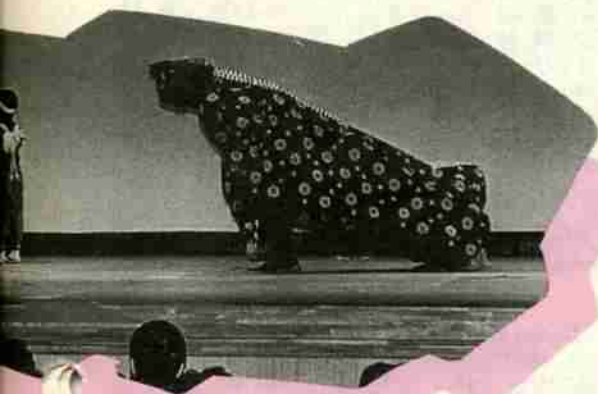
ぼりべつ とまつり



青葉小2年1組の作詞した「さくらんぼ学級」の合唱です。



青葉小2年2組の作詞した「青空にむかって」の合唱です。



ふるさと豆まき大会 市民会館の屋上から2,500個の豆が…



北海道ニューフロンティア・フェスティバル
第6回「北の讃歌コンクール」最優秀曲
「冬支度 雪支度」…秋から冬に移る季節感を
うたった曲です。



「のほりべつ温泉小唄」
昭和の初めに作られ歌い継がれている温
泉情緒豊かなメロディーです。
唄……小ざんさん(温泉町在住)
三味線……秀香さん(温泉町在住)
踊り……登別婦人会の皆様さん

写 真 特 集

めは ふるさ



寒さも仲間……みんなはつらつ 寒中ラジオ体操



郷土芸能「少年熊舞」

登別温泉中学校のみなさん

先人が登別温泉に初めて足を踏み入れたとき、山中で熊に出会いその熊の道案内で地獄谷にたどりついたという伝説にもとづいて創られたといわれています。

郷土芸能「札内神楽獅子」

札内小中学校のみなさんです。

香川県から入植し、札内町を開拓した人たちが故郷をしのんで開拓の志気上げ、豊作と家内安全の願いを込めています。



「ふるさとまつり」のフィナーレは地場産品が当たる大抽選会が行われました。

富士町の米川美代子さんは第9回江差追分
日本一の方です。この日は……
「江差馬子唄」を披露してくださいました。



苫小牧にお住まいの高木君さん
「男 港 登別」と「石狩恋唄」の
2曲を披露してくださいました。
「石狩恋唄」は北海道ニューフロン
ティア・フェスティバル第8回「北
の讃歌コンクール」優秀曲です。



ことがなかった。
一月三十・三十一日の日程で行われた登別市主催のスタッドレスタイヤ装着車試乗会に何事も経験と参加してみた。

夜の七時三十分。登別自動車学校特設コースは、日中の暖かきで溶けた路面が夜間の冷え込みで凍り、試乗にはうってつけの状態だ。暖冬のため、自衛隊のトラックで延べ百二十四台分の雪を運んで造ったこのコースは、わだち、坂道、アイスバーンといろいろな道路状況が用意されている。

試乗前の講習で「一回目は乱暴に、二回目は教官の指示通り運転してください」との説明があり、さっそく挑戦する。

一回目発進してまず驚いたのが音が静かなこと。スパイクタイヤしか乗ったことのない私は、まるで夏タイヤで運転している錯覚を起し、ますます不安がつる。

わだちの脱出を試みるが失敗。最近を除雪の徹底でわだちの道路にはとんとお目にかかったことがなく、仕方がないと自分に言い聞かせ、坂道発進に取りかかる。スパイクタイヤの要領でふかしすぎ、スリップして全然前へ進まない。

サイドブレーキを引き、ゆっくりクラッチをつないでようやく坂道を上げる。コーナーを回ると最後のアイスバーンでブレーキングをテストする。目一杯アクセルを踏み、目印の所で急ブレーキをかける。

乗ってみました

市民体験隊

スタッドレスタイヤ

リポーター 岩佐春江

案の定エンジンは停止、車体は真横になってしまった。

二回目は発進はゆっくり、加速はスムーズなシフト操作で、ブレーキは除々にかけロック寸前でやわらかくじわじわとしかかとを付け足首を使うといった教官の指示通り運転。

一週約四百回のコースを無事終了したものの、慣れるまで時間がかかりそう。

オートマチック車にも乗ってみた。無駄な動きがなく、発進時はクリーピング現象を利用してとてもスムーズに出来、特に坂道発進では抜群の威力を発揮した。

マニュアル車とオートマチック車を体験したが、車の機種（FF車・FR車・四輪駆動車）によって様々な特徴があり、それぞれの車の特性をよくつかみ、知識と技術を身に付けることが大切で、タイヤにしてもスパイクとスタッド

レスがあり万能的なタイヤは無いということを入れ、あたりまえの運転ができることが冬道に限らず、交通安全につながるのですと言っていた教官の言葉が印象に残った試乗会であった。

スパイクタイヤの装着率はまだまだ高く、道路の損傷や削り取られた粉じんによる生体への危険性を考えると、脱スパイクは時代の流れであることが理解できる。

そのためには、私たちドライバーの自覚が必要であるが、除排雪の充実、路面凍結防止剤（融雪剤）の散布、坂道等のロードヒーティングなど、安心して運転できる道路環境の整備も必要であり、この点、行政サイドにもお願いしたい。





健康づくりのためにも……

高齢者向けスポーツとして定着しつつあるゲートボールは、市民に普及してから十年余りになるといわれます。今では、その愛好者が市内で七百人とも八百人とも言われ、夏には市内各所のコートでゼッケンを付けてボールを打つ姿が見受けられます。

この様に急速に普及してきたゲートボールを指導育成された登別ゲートボール協会二代目会長の高澤さんにスポーツを当て普及、発達の要因や今後の課題などについて話を聞いてみました。

今日のように急速に愛好者が増加した主な要因は、平均寿命が延び自由な時間が持てるようになったこと、市の高齢者の健康づくり対策としてヘルスパイオニアタウン事業等に取り入れられたこと、それに登別老人クラブ連合会の協

で開催されました。参加五十八チーム、約四百名が一室に会し市長旗をめぐる熱戦が繰り広げられました。また、今年三月二十日には、市総合体育館で第四回「登別市内ゲートボール大会」が行われ、四十チームが参加し冬期間の運動不足解消に心地よい汗を流

年、北海道の芽室町で考案され、幾多の変遷をみながら高齢化社会に適したスポーツとして三十年余りの間に急速に発達してきました。私がゲートボールとのかかわりを持ったのは、昭和五十八年室蘭市教育委員会体育課主幹、京極敏先生（現在登別市立青葉小学校校長）のすすめによってでした。

力によりクラブ員のチーム作りが盛んとなったことだと思えます。これからの課題については、ゲートボールが日本体育協会に入会が認められ、国体に正式種目として参加できるようになり、競技目的として練習する部門とレクリエーションを目的とした部門に区分されてくるように思われますが、いずれにしても仲よくお互い助け合いの気持を忘れる事なく楽しくゲームを進めるよう育成して行きたいと思っています。また、競技マナーを守り、服装の美化などにも力を入れようと考えています。

冬期間のゲートボール練習場も各地区の体育館等を借りていただいで仲よくプレーをしてもらいたいと思います。そうすることが市民の皆さんに愛されるスポーツとしてさらに普及していくことにもなりますから。最後になりましたが協会の副会長でもある高瀬さんが日本ゲートボール連合の健康功労表彰で銀賞を受賞されました。これは協会にとっても大変名誉なことであり、私たちもより一層ゲートボール発展のため努力しようと決意も新たにしました。

生涯スポーツとして普及した

ゲートボール

市民レポート

リポーター 工藤 勝雄

——あまり勝負にこだわり過ぎて監督と選手の間溝がでるようではせっかくの親睦のためのゲームも場がしらけてしまいます。監督と言って同じ仲間であることを忘れてないでやってほしいと思っています。せっかくの親睦のためのゲームですからね。また、急速にゲートボール人口が増えてきたためコート設備が追いつかないのが実情です。まだまだ空いている公園などを借用してやる場合でも、他の使用団体に迷惑のかわらないようにして地域の方々や仲よくやっていただきたいと思



こんなところ あんなところ

私の好きな場所

其の九 幌別川河畔

幌別川来福橋のたもとでゆっくり羽根を休めるオオハクチョウ。昨年十二月なかば、シベリアからの長く厳しい旅を経てこの地を訪れたのは二十五羽。時折訪れる市民とも、すっかり顔なじみ。近寄ってきては、エサをねだります。

この地でしばしの休息ののち、北の寒気がゆるむ頃、再び北に向かって力強くはばたいて行くことでしょう。



オオハクチョウの いる場所

三十五年間、中学校で数学（前半は体育）を教えていました。教育だけじゃなく何でもそうですが、口で言うだけでは駄目なんですよね。行動が大事なんです。特に今の子供達は実践が伴わなくてはついてこない。身体が動かなくなつてから辞めるよりは、と三年早く退職してこの三月で一年になります。

今はやりたい事がたくさんあって、昨年も念願だった窯を鉾山につくり、陶芸を楽しんでいるんです。「夢工房」という名前を付けたんですが、実は六年前に合宿所として古い建物を改修した所なんです。バレー部をずっと指導していたもんですから、気軽に利用できる合宿所があればと思っていたら、運良く協力を得まして……。

とにかく人の手が入ってない自然が残っていますから、空気がおいしいし、鳥の鳴き声が何とも言えない。子供達（生徒）は夜、わざわざ外に出て、「この星は本当にきれいだ」と眺めるんですよ。今も子供達が利用していますし、山菜採りに来た人が寄ったり、卒業生が子供達を連れて遊びに来たりしますから、興味のある子に造らせるととても喜んでくれますね。

まあ、向上心は大事なんです。うが、あまり凝り過ぎずに肩を張らずに続けたいですね。

自分で育てたサツキ等がかなりありますので、今年は是非その植木鉢を作ろうと張り切っています。

リポーター（中川 たみ子）
次回は美園町在住の坂本知代子さんです。お楽しみに!!

市民登場

友達の輪



佐久間 譲 さん
(58歳) 若草町在住

平成3年度

広報モニターを募集します。

ご意見をお聴かせください

市は、市民参加の広報紙づくりをすすめるため、次のとおり「登別市広報モニター」を募集します。

広報のほりべつへのご意見など日頃市の広報活動について感じていることをお聴かせください。

- ▶ 募集人員 5名
- ▶ 応募方法 3月15日までに市役所総務課広聴広報係（☎1130）に電話でお申し込みください。
- ▶ 広報モニターの業務 (1)年2回開催する広報モニター会議に出席のうえ市の広報活動に関し意見を述べること (2)定期・随時に意見、要望等を文書で提出すること
- ▶ 資格 登別市民であればどなたでも結構です。

平成3年度

広報市民リポーター

やってみませんか

「広報のほりべつ」は、いま市民自らの企画で話題をおとどける広報市民リポーターのコーナーを設けています。現在、5名の市民リポーターの方が毎月、企画立案に、取材に活躍されています。

市では、さらにこのコーナーを充実するため次のとおり広報市民リポーターを募集します。あなた自らの企画で市内の話題やまちづくりの動きなどをリポートしてみませんか。

- ▶ 募集人員 10名
- ▶ 応募方法 3月15日までに市役所総務課広聴広報係（☎1130）に電話でお申し込みください。
- ▶ 資格 登別市民であればどなたでも結構です。





生涯学習 コーナー

サークル会員 募集!!

市民会館などで活動している各サークルでは、初心者の方々を募集しています。

お気軽に参加しませんか。

◎市民会館

- ▼昼の部 ベンクラブ(ペン習字)、小鈴会(和裁)、パレット(油絵・水彩画)、子育てサークル(親子ふれあい)、アーミサロン(手あみ)、ヨガサークル、かまど(食文化サークル)、料理サークル(レモン:月一回、あじさい:月二回、かえて:月二回)
- ▼夜の部 シュークリーム(ケーキづくり)
- ▼夜の部 魚拓サークル、マイコンクラブ、英会話
- ◎婦人センター
- ▼昼の部 手編み、ジャズダンス、

和裁、子育てサークル(親子ふれあい)、藤王芸、ヨガ、フォークダンス、民謡、手芸(アートフラワー)、料理サークル(キッチン木曜会)

▼夜の部 登別フイメールコール(合唱)、社交ダンス、華道、民謡

◎驚別公民館

- ▼昼の部 水墨画、水彩画、着付けと礼法、染の花(アートフラワー)、木彫、洋裁、和裁、女性コーラスボニークラック(合唱)
- ▼夜の部 生花、民謡、魚拓、俳句、社交ダンス、女性コーラス
- しおき(合唱)、詩吟

◎労働福祉センター

- ▼夜の部 和裁
- ※時間はおおむね次のとおりです。
- ▼昼の部 午前十時～正午
- ▼夜の部 午後六時～午後八時
- 会費は各サークルで異なりますが無料から二千円程度です。
- ▼申し込み・問い合わせ 市教育委員会社会教育課(☎1100)

驚別地区レクタダンスサークル会員募集

- 驚別地区レクタダンスサークルは、会員を募集しています。
- ▼募集人員 午前の部(午前十時から正午):二十名、午後の部(午後一時から午後三時):四十名

▼申し込み方法 往復はがきに住所・氏名・電話番号及び午前の部か午後の部を明記しお申し込みください。

▼申し込み・問い合わせ先 驚別公民館内「レクタダンスサークル」(驚別町三三四 ☎8823) (三月十八日(月)までにお申し込みください)。

▼会員 三か月 千円(月四回程度活動)

※詳しい内容は、後日はがきでお知らせします。

ピーター先生の 英会話教室開催

市内の中学校で、英語指導助手として活躍しているピーター先生を迎えて英会話教室を開催します。

- ▼日時 三月十三、十五、十八、二十、二十五日(計五回) 午後六時三十分から午後七時三十分
- ▼場所 市民会館
- ▼定員 二十名(英語の基礎的知識のある方、小・中・高校生は除く)
- ▼受講料 無料
- ▼内容 英会話での自己紹介、あいさつ、数とお金について、時間と温度、電話のかけ方、敬語の使い方など
- ▼申し込み 三月五日(火)より市教育委員会社会教育課(☎1100)で受け付け

四月から土曜閉庁

市役所本庁・各支所などの窓口は、四月から毎月の第二・第四土曜日を休みとさせていただきます。なお、本庁については今までどおり、宿日直者による埋火葬許可書の発行、死亡届、婚姻届の受理を行います。 ※詳しくは、四月一日号でお知らせします。

ふらふら相談コーナー

- Q 下水道の受益者負担金とはどういうものですか。
- A 受益者負担金制度とは、将来の公共下水道を計画的にしかも早期に完成させ、市民間の負担の公平化を図ることを目的にしたものです。すなわち、下水道が入ることにより利益を受ける人(受益者)に建設費の一部を負担していただく制度です。登別市の条例により納めていただきます。
- Q 公共下水道は当然公費で施工すべきで、なぜ、受益者に費用の一部を負担させるのですか。
- A 下水道施設は、道路や公園など一般の公共施設とは異なり、ある特定の人に利益をもたらす性格を持っています。つまり、下水道事業が長い年月にわたって実施されるといっていい地区では、完備された一部の地区の土地の資産価値が高まるという利益が生じます。このため下水道の建設費を全市民が共通に負担すると、利益を受けない市民にまで負担を強いることとなり公平な負担の原則に反することになります。そのため利益を受ける人に一部負担していただくこととしたものです。
- Q 土地が受ける利益とは具体的にどういふことですか。
- A 生活環境が向上するとともに、土地の資産価値が上がり、水洗便所が使用でき快適な生活ができます。汚水が下水道管に入るので、カ、ハエの発生がなくなり、環境が良くなります。

明治二年(一八六九)幌別郡(登別市)は仙台藩家臣片倉邦憲の支配地になるが、移住した当時の郡内の馬数は会所の所有馬だけでも四百余頭いたようで、特に会所(幌別町一・二丁目)の裏側、米馬川周辺の原野に野生化した馬が相当数生息していた。

大量の野生馬は、大群をつくり、移住者が苦勞して開墾した畑に簡素な馬除垣をたちまちにけり壊して乱入、畑作物を食い荒し駆け回ると来るという有様。普段おとなしいと言われる馬も、野生化した集団化して数百頭が群走する様子は本当に恐ろしい、とも記録している。

入植当時、時間も資金もなかった片倉家臣団は交通・通信・運輸の手段、農耕・林業など登別の開拓には絶対に良馬の飼育が必要であること、を話し合い、丈夫な牧さくで取り囲む放牧場を作ることになった。

このようにして翌三年、鶯別村字ベシボツケ(崖下の所の意味で室蘭市輪西町、当時は鶯別村に編入されていた)牧場に人・荷物を運ぶ駅通馬四百余頭以外の馬を移し、管理所を設け、特に夜間は管理人を二人置き馬の脱走を防ぎ、産馬係は南部から買入れた良質の牡馬五頭で野生化した牝馬から生まれる馬の改良を計り、良馬の生産にも努力した。

ところが、明治五年(一八七二)室蘭港の開港と、同地から札幌へ通じる札幌本道(国道三十六号線に相当)を開道することになり、

牧場通過のため開拓使から牧場廃止の命令が下され、俄に幌別村内原野(千歳町・富浦町丘陵地)に移される。

また一方、当時の登別は道内でも馬の産地、馬の飼育に適した所とされ明治六年北海道開拓使の官営牧場として「登別牧場」が開かれ脚光を浴びる。有名な七重官園

郷土史点描①

登別の開拓と動物たち

ウマのなかかわり② その2

登別郷土文化研究会

宮武 紳一



登別の採石風景

野生馬対策と広大な牧場の管理面
の問題で良馬の産出も難しいと判断されたのであろうか。

明治十年(一八七七)登別牧場廃止、千歳の漁牧場へ明治十一年には日高の新冠牧場に官営牧場が移されることになるが、登別牧場廃止後も登別牧場跡や来馬・富岸・鶯別来馬(新生・若草・美園町)などで飼育が進められ、民有馬は八百余頭に及んでいる。

道産馬は、本来南部系の馬が、厳しい冬の北海道という環境下で自然淘汰されながら強い馬だけが生き残り繁殖したものである。寒気・粗食に耐え持久力も抜群、小形であるが小回りがきいて当時の開拓者には貴重な存在であった。

しかし、乗馬や重量物の運搬に酷使するようにになると形も良く大形で馬力のある外来馬にかなわなかった。開拓使は良種類の牡馬、外国種も貸しつけて交配させ、道産馬は不良馬として牡馬の去勢を奨励したので馬の多い登別では大変であった。去勢をしたら死んでしまう、いくら駄馬でも大事なもので切りとることもあるまい、という同情論から背の低い道産馬は乗りやすいが改良馬は背が高くハシゴが必要だ、という反対論もあったらしい。

道産馬の受難の時代が続くのである。

から牧馬が、翌年札幌地方から公用馬二百三十頭が冬飼いのため移され、牧場取り締まりに片倉家旧家老斎藤理左衛門(録高六十五)が任命された。

幸先の良い登別牧場であったが当年登別地方は積雪多く、また牧場の範囲が白老郡竹浦町西南のメツブ川地方に及ぶと、谷地・沼・川も多く地形も悪い。それに片倉家や開拓使の管理する良馬より野生化した馬が当時千七百頭も群せい(登別町史)していたと言われ、

棒針編み(内職技術)講習会

あなたも参加しませんか

室蘭市就業援助センターは、棒針編み講習会の参加者を募集しています。

- ▼日時 四月八日から六月二十七日までの毎週月・木曜の二十一日間、午前十時から午後三時
- ▼場所 室蘭市勤労婦人センター(室蘭市栄町二一・二二)
- ▼対象 棒針編みで内職希望の方
- ▼定員及び受講料 二十名、無料
- ▼申し込み期限・方法 三月二十八日(木)までの毎週月曜日から木曜日の午前九時三十分から午後三時三十分までに同センターへ直接来館してください
- ▼問い合わせ 同センター内室蘭市婦人就業援助相談室(☎294431)

母子・児童相談

子どもの非行や登校拒否、しつけ、自閉症、養護、ことばの障害、児童施設入所などでお困りの方は、お気軽にご相談ください。

- ▼相談日 毎日午前九時から午後三時まで(土・日・祝日を除く)
- ▼場所 福祉事務所福祉課福祉係
- ◎室蘭児童相談所の定例相談 三月二十日(水)午後一時から午後四時：鉄南ふれあいセンター 一 二階和室

※室蘭児童相談所が行う定例相談

を希望される方は、予約制になります。お申し込み・お問い合わせは福祉事務所(☎29008)まで。相談は無料です。

臨時作業員の登録

市は、ゴミ収集作業員(臨時)と野犬掃とう業務補助者を募集しています。

- ◎ゴミ収集作業員
- ▼市内に居住する満十八歳から六十歳までの男女で健康で体力に自信のある方
- ▼作業時間帯 午前九時から午後五時十分まで
- ▼賞金 一日 四千八百円(平成三年三月三十一日まで)平成三年四月一日から五千七百円
- ◎野犬掃とう業務補助者
- ▼臨時の職で犬に関する各種業務を補助する方

※それぞれの職について詳しいことは環境衛生課(☎2958)へお問い合わせください。

引っ越し先が決まったら

NTT 登別営業所



春は引っ越しのシーズンです。引っ越し先が決まったらお早めに局番なしの116番(無料)へダイヤルしてください。